

日時	令和5年1月27日(金) 15:30 ~ 17:10															
開催場所	ほどがや地域活動ホームゆめ食堂(リモート併用)															
出席者	<p>【会場出席】</p> <p>かけはし、オレンジよこはま、恵和相談室、延命法律事務所 地域生活支援センター</p> <p>【リモート出席】</p> <p>いわまワークス、ハーモニー</p> <p>【事務局】</p> <p>夢21、光の丘、生活支援センター、保土ヶ谷区基幹相談支援センター、タキオンネクスト</p>															
欠席者	保土ヶ谷区役所															
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ 非公開															
議題	計画相談の運営について(GW・プチ講座)～お互いの運営方法を参考にしましょう～															
議事	<p>1. 事務局より</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働体制による機能強化型サービス利用支援費について、実際に協働体制を組んでいるコンシェル米沢氏よりお話をいただく旨の説明。 <p>2. プチ講座『機能強化型サービス利用支援費について』</p> <p>※資料『光の丘相談室&相談支援センターコンシェル 協働体制について』を基に、説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> 協定書については、事業所毎に提出する必要がある。 会議の開催は多いが、オンラインでの実施が可能なため、負担感は少ない。 <p>【質疑応答】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>質問</th> <th>回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協定を結ぶまでに半年位かかったという点について、時間のかかった要因はなにか。</td> <td>運営側へ伝える点が大変だった。</td> </tr> <tr> <td>協働体制を組むにあたり、個人情報使用同意書等の修正や、利用者からの同意取り直しはするか。</td> <td>個人情報使用同意書等、取り直しは行っていない。事例検討についてはイニシャルで実施する等していること、事前に提供許可をもらうということは行っている。</td> </tr> <tr> <td>24時間体制について、どちらか一方の事業所がその体制を取れば良いのか。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 制度的にはどちらか一方の事業所が携帯を持ち、輪番制にするということは良いとされているが、実際にケースを熟知していない状況では対応出来ないため、各事業所で持っておくことが望ましいと考えている。 法人内の職員であれば対応者は相談員以外でも問題ない。 </td> </tr> <tr> <td>24時間体制は実際にどのように対応しているのか。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> コンシェル⇒輪番制で専用携帯を持つ。 光の丘⇒入所施設での対応している。 </td> </tr> <tr> <td>夜間等に実際に連絡来ることはあるか。</td> <td>在宅の利用者から連絡が来ることはあるが、頻繁にはない。</td> </tr> <tr> <td>同一法人だから連携も取りやすいのではない</td> <td>同一法人でも元々関わりがあまりなく、連携が</td> </tr> </tbody> </table>		質問	回答	協定を結ぶまでに半年位かかったという点について、時間のかかった要因はなにか。	運営側へ伝える点が大変だった。	協働体制を組むにあたり、個人情報使用同意書等の修正や、利用者からの同意取り直しはするか。	個人情報使用同意書等、取り直しは行っていない。事例検討についてはイニシャルで実施する等していること、事前に提供許可をもらうということは行っている。	24時間体制について、どちらか一方の事業所がその体制を取れば良いのか。	<ul style="list-style-type: none"> 制度的にはどちらか一方の事業所が携帯を持ち、輪番制にするということは良いとされているが、実際にケースを熟知していない状況では対応出来ないため、各事業所で持っておくことが望ましいと考えている。 法人内の職員であれば対応者は相談員以外でも問題ない。 	24時間体制は実際にどのように対応しているのか。	<ul style="list-style-type: none"> コンシェル⇒輪番制で専用携帯を持つ。 光の丘⇒入所施設での対応している。 	夜間等に実際に連絡来ることはあるか。	在宅の利用者から連絡が来ることはあるが、頻繁にはない。	同一法人だから連携も取りやすいのではない	同一法人でも元々関わりがあまりなく、連携が
質問	回答															
協定を結ぶまでに半年位かかったという点について、時間のかかった要因はなにか。	運営側へ伝える点が大変だった。															
協働体制を組むにあたり、個人情報使用同意書等の修正や、利用者からの同意取り直しはするか。	個人情報使用同意書等、取り直しは行っていない。事例検討についてはイニシャルで実施する等していること、事前に提供許可をもらうということは行っている。															
24時間体制について、どちらか一方の事業所がその体制を取れば良いのか。	<ul style="list-style-type: none"> 制度的にはどちらか一方の事業所が携帯を持ち、輪番制にするということは良いとされているが、実際にケースを熟知していない状況では対応出来ないため、各事業所で持っておくことが望ましいと考えている。 法人内の職員であれば対応者は相談員以外でも問題ない。 															
24時間体制は実際にどのように対応しているのか。	<ul style="list-style-type: none"> コンシェル⇒輪番制で専用携帯を持つ。 光の丘⇒入所施設での対応している。 															
夜間等に実際に連絡来ることはあるか。	在宅の利用者から連絡が来ることはあるが、頻繁にはない。															
同一法人だから連携も取りやすいのではない	同一法人でも元々関わりがあまりなく、連携が															

か。	弱かったため、この制度を導入してから連携を強化出来ている。
協働体制を組むことのメリットは他にあるか。	それぞれが知っている社会資源を出し合うことで、それぞれの知識も増える。
ケース共有や事例検討会議は、全員の共有を図るのか。	全ケースを扱うには無理があるため、ピックアップし、その時に必要な内容で実施している。

3. グループワークの全体共有内容

- ・テーマ①各事業所での運営面の工夫
- ・テーマ②講義の中で参考になったこと、事業所に取り入れられそうなことなど

	1・2グループ	3グループ
テーマ①	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング加算を取る。 ⇒記録が追い付く範囲で取る事業所あり。 ・モニタリング実施方法を工夫。 ⇒事業所周りの数を少なく出来るように効率化を図る（スケジューリングの工夫）、内部の方は Zoom を活用、なるべく事前に情報収集する、複数名の担当でサイン回しする。 ・計画単体事業では赤字だが、法人なので何とかこなせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所毎に会議の時間を持つ。 ・相談支援専門員のメンタルケアのため休養も重要視している。 ・計画相談はケース少なめに運営し、十分なサービスが行えるようにしている。 ・法人内部、外部のすみ分け。 ・外部を受け入れる相談員のスキルをつける。 ・研修、事例検討、人材育成：アセスメント力を培う。内部研修の講義を担当する。 ・事業所で参考図書を購入し発想力を養う。 ・YouTube を活用する。
テーマ②	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員 2 名でケース検討しているため、協働体制を組まなくても大丈夫と感じた。 ・24 時間体制を作るにはハードルが高い。 ・オンコールは労働とみなされるのかという問題が出てくる。 ・大きな法人での体制は取りやすい。 ・地域貢献にもなるか。 ・複数名で共有する点は良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに相談支援の強みのネットワーク作りが出来れば良い。 ・情報収集力が必要。 ・協定を結ばなくてもネットワークが作れれば良い。 ・1人で運営していると誰かに相談して良いか困るので、連携の大切さが学びになった。

■まとめ（光の丘より）

- ・収益面でのメリットの他にも、業務面での連携強化等、実際の業務でのメリットも多くある。
- ・計画相談支援事業所での運営面や業務面での課題があることはわかるが、それを打破していくためにも、相談員がマネジメントする力を身に付けなければならない。（運営側へ伝えるための資料のプレゼン等、努力する必要がある）

4. 各事業所からの情報提供

①計画相談の実施状況

【取扱注意】計画相談支援実施状況(R4年12月現在)

	対象者数 (障害サービス+ 地域相談利用者)	計画相談決定数	計画相談未決定者				実施率 (計画相談+ 介護利用者)	事業所数
			介護保険利用者 (ケアプラン)	セルフプラン 希望者	事業所が 見つからない	その他		
保土ヶ谷	1,638	850	100	183	502	3	58.0%	21

- ・システムエラーのため、実際には0件。
- ・ケアプランと計画相談が両方入っている場合にはダブルでカウントされている。
- ・セルフプラン希望者は、あえてセルフプランを希望しているケース。

②「共に生きる」について（※資料参照）

③保土ヶ谷区自立支援協議会代表者会議の周知

- ・2月15日（水）ハイブリッド開催

次回相談支援部会

□日時：令和5年2月24日（金）15：30～17：00

□場所：地活ゆめ2階食堂（リモート併用）

A stylized landscape illustration featuring rolling green hills in various shades of green, a brown path, a green tree, a purple flower, and an orange butterfly. The sky is composed of horizontal bands of light blue and white. A small red bird is flying in the upper left.

光の丘相談室 & 相談支援センターコンシェル

協働体制について

相談支援センターコンシェル

もくじ

- 協働体制とは
- 光の丘相談室・相談支援センターコンシェルにおける協働体制
- 必要な手続き
- 要件
- 会議について
- やってみて(良かったこと・大変なこと)

協働体制とは

- 経営実態が厳しい小規模事業所について、基本報酬を引き上げるとともにサービスの柔軟性・質の向上を目的として令和3年度より新設された制度
- 各事務所に常勤専任者1名を置くこと、複数の事業所で24時間の連絡体制が確保されること等を要件に機能強化型の算定条件を満たすことを可能とする

光の丘相談室・コンシェルにおける協働体制

これまで

- 光の丘相談室
兼務3名
..機能強化なし

- コンシェル
専任3名＋兼務8名
..機能強化型Ⅱ



協定後

- 光の丘相談室
専任1名＋兼務2名
+
- コンシェル 専任3名＋兼務8名
..専任4名 **機能強化型Ⅰ**

必要な手続き

- 協定書

NSK(日本相談支援専門員協会)のホームページで「協定書」と検索すれば、ひな形のデータがでてきます！

[日本相談支援専門員協会 | NSK Official Site \(nsk2009.org\)](http://nsk2009.org)

- 体制届OR変更届

要件

- 各事務所に1名以上の専任者
- 体制の確保や質の向上に向けた取り組み
- 24時間の連絡体制
- 協定を締結
- 必要な会議

必要な会議

A: 協働体制の要件を満たしているかについて確認する会議(月1回)

※要件(イ)～(ク)・・・ガイドライン P99参照

B: 利用者に関する情報またはサービス提供に当たっての留意事項の伝達等を目的とした会議(概ね週1回)

C: 原則、全職員が参加すケース共有会議、事例検討会議(月2回)

実際の会議スケジュール

	月	火	水	木	金
1週目			B、C 16:00~17:00		
2週目	B 9:00~10:00				
3週目	B 9:00~9:30				
4週目	B、C 16:00~17:00				
5週目	A、B 9:00~9:40				

A：要件を満たしているか確認する会議
B：伝達等を目的とした会議
C：ケース共有会議・事例検討会議

良かった事 ①

- 収入増

○光の丘相談室 …… 強化型なし→強化型 I (400単位増)

契約数 43件 年 172件 × 400単位 = 約754,048円/年

○コンシェル …… 強化型Ⅱ→強化型 I (100単位増)

契約数 340件 年1360件 × 100単位 = 約1,490,560/年

※令和3年度

良かった事 ②

- お互いの強みを共有できる

光の丘相談室・・・2次相談や心理をもっており困難ケースに多く対応

コンシェル・・・ケースの多さや各事業所からの兼務体制による情報量

大変な事

- 会議の多さ
- 協定を結ぶことを決めるまで



おわり